

浅ノ川総合病院 後期研修プログラム

耳鼻咽喉科

I 研修目標と内容

研修目標

医師としての患者への係わりを学び、技術的には日本耳鼻咽喉科学会専門医取得レベルを目指す。

A. 一般的事項

- 1) 科学的に理屈が合うか否かを基本として疾患に対峙する姿勢を学ぶ。
- 2) 当院スタッフとして院内各部所のメンバーとコミュニケーションを良好にとる。
- 3) 患者や家族と親身に話ができ、福祉医療を含めた社会的背景へも配慮を巡らせる。
- 4) 自身で解決不能な場面では躊躇せず上司へ連絡をとる。
- 5) 外科系当直医として、救急医療にも関与する。
- 6) 保健医療の仕組みについて理解する。
- 7) 朝・夕に担当患者の回診を行う。

B. 専門的事項

- 1) 耳鼻咽喉管腔領域・頭頸部外科領域の疾患全般にわたる知識を学ぶ。
- 2) 耳鏡・鼻鏡・喉頭鏡・耳鼻咽喉内視鏡を、手軽に苦痛を与えず使用できる技に習熟する。
- 3) 聴力検査・平衡機能検査等を自らが行えるようにする。
- 4) 当科領域の画像診断読影について習熟する。
- 5) 当初は助手として全ての手術に参加し、研修期間内に慢性炎症性疾患・良性腫瘍・聴力改善手術等の執刀医として経験を積む。
- 6) 担当した症例の学会報告を行い、論文作成に関するノウハウを学ぶ。

II 指導プログラム責任者

宮澤 徹：耳鼻咽喉科医長、
日本耳鼻咽喉科学会認定専門医

辻 裕之：非常勤、金沢医科大学耳鼻咽喉科 頭頸部・甲状腺外科教授
日本耳鼻咽喉科学会認定専門医

III 行動スケジュール

- 1) 当初3カ月はいずれかの指導医1名と共に、外来・病棟・手術を行う。
以降の期間は主治医として外来担当、病棟担当を行う。
- 2) 外来は3日/週、手術は2日/週で行う。
- 3) 症例カンファレンス・勉強会は1回/週に行う。
その他、金沢医科大学耳鼻咽喉科症例カンファレンスに1回/週参加することを目標とする。

IV 当科の特長

市中の総合病院として、最前線の診療をそつなく行うことを主眼に置いている。
当科領域の普遍的疾患に対する最新治療と上手な手術がモットーである。